

# 匝瑳市における学校の統合計画[第2次]

匝瑳市教育委員会

## 1 はじめに

匝瑳市の小学校では、児童数の減少のため1学級の児童数が数名となり、国の学級編制基準による複式学級が、複数出現している学校もあります。

匝瑳市教育委員会では、児童生徒数の減少による様々な課題に対処すべく、匝瑳市学校教育問題懇談会を組織し、学校教育関係者、保護者、学識経験者等により、多角的な視野でこの問題について協議をしていただき、意見書の提出をいただきました。

また、児童数の減少が著しく、複式学級が複数出現している学校の保護者、地域住民、学校職員と教育委員会担当者との意見交換会やアンケート調査から様々なご意見を伺いました。

これらのことを基に、児童のより望ましい学習環境整備を第一に考え、学校の統廃合も視野に入れて検討し、平成21年3月に「匝瑳市における学校の統合計画」を作成いたしました。

その後、「匝瑳市における学校の統合計画」に基づき、児童数の減少が特に著しい飯高小学校と匝瑳小学校の統合問題について、教育委員会、保護者、地域住民が協議し、その結果、飯高小学校は、保護者、地区住民の合意のもとに、平成22年4月に八日市場小学校と統合し、匝瑳小学校については、統合を見合わせたいとの保護者、地区住民の総意を尊重し、平成23年4月に他校と統合する案は変更することにいたしました。

以上のように、平成21年3月に作成した「匝瑳市における学校の統合計画」の具体的な実施により、その後、統合問題に変化があったことから、計画を改正し、ここに「匝瑳市における学校の統合計画[第2次]」を作成いたしました。

## 2 市立小学校の児童数の現状

### (1) 児童数の推移

年 度	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成22年	平成28年
児童数	3,015名	2,580名	2,374名	2,096名	1,972名	1,692名

### (2) 学校別児童数・標準学級数

	平成22年度児童数(学級数)	平成28年度児童数(学級数)
平和小	172名 (6学級)	136名 (6学級)
椿海小	243名 (9学級)	231名 (6学級)
八日市場小	378名 (12学級)	332名 (12学級)
匝瑳小	49名 (4学級)	36名 (4学級)
豊栄小	229名 (8学級)	198名 (6学級)
須賀小	173名 (6学級)	145名 (6学級)
共興小	139名 (6学級)	111名 (6学級)

吉田小	69名 (5学級)	64名 (6学級)
豊和小	71名 (6学級)	54名 (6学級)
栄小	189名 (6学級)	161名 (6学級)
野田小	260名 (11学級)	224名 (6学級)

※学級数は特別支援学級を除く

※平成22年度は5月1日現在、平成28年度は推計の数値

匝瑳市全体の小学校児童数は減少傾向にあり、国の学級編制基準上での複式学級は、匝瑳小で平成22年度以降2学級出現することが続き、吉田小学校は平成22年度のみ1学級出現、その他の学校は当分の間出現しないと予想されます。

### 3 小学校の適正規模・適正配置

#### (1) 小学校の適正規模について

小学校では様々な個性、考え方の児童が集い、その中で様々な価値観に触れ、社会性を育み、人間関係を築き、成長することが期待されます。このことから、学級編制替えができ、より多くの児童や教師との関わりあいをもてる一つの学年2学級から3学級、学校全体としては12学級から18学級の学校が適正規模であると考えます。

#### (2) 小学校の適正配置について

小学校の適正配置については、通学の安全、地理的条件、歴史的条件等が考慮される必要があると考えます。現在の小学校区は、「匝瑳市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則」に定められ、面積の大小や通学距離に相違があるものの、匝瑳市内各地区の歴史や伝統、地域的なつながり等を考慮して設定されており、上記の適正規模に固執することなく、できる限り存続させたいと考えます。

### 4 児童数の減少にともなう問題

#### (1) 人間関係づくりや社会性育成面での問題

数名の児童からなる極めて児童数が少ない学級の場合、極少数の児童と小学校の6年間を過ごすことになり、友人関係の固定化や序列化等を招く恐れがあります。また、多様な価値観に触れそれを受け入れながら自己の幅を広げたり、多様な個性を持つ大勢の級友の中で、様々な経験をしながら生活することで、社会に対する適応力を育む等の機会に恵まれなくなります。

これらのことから、少人数の学級においては、人間関係づくりや社会性を育成する面で問題が生じる恐れがあります。

#### (2) 学習面での問題

学習問題に対する多様な考え方に触れ、知的刺激を受ける機会や切磋琢磨する機会が少なくなる他、話し合いや体育分野の集団種目の実施等に大きな

制約ができ、実施不可能な種目もでてしまいます。

学校行事の実施や体育、音楽等の分野の対外試合や発表も、運営や選手等の構成に無理が生じてしまいます。

(3) 複式学級における問題

複式学級は、一つの学級に異なる学年の児童が混在するために、学習効率は非常に悪くなります。

(4) 学校経営上の問題

学級数の減少に伴い、配置される教職員数も減少するため、教員や学校にかかる負担が増加し、学校行事の実施や不慮の事態への対応も難しくなります。

5 児童減少に伴う学習環境問題及び統合問題対応の経緯

(1) 学校の統合に係る学校の保護者・地区民との意見交換会（平成20年度まで）

飯高地区は平成19年度・平成20年度、匝瑳地区は平成20年度に意見交換会とアンケート調査を実施し、「子ども達をよりよい学習環境で学ばせるためには統合も止むなし」、「学校は地区の核となっている場所なので統合には反対である」、「統合をする場合はスクールバスの運行を望む」等のご意見が寄せられました。それらのご意見は匝瑳市学校教育問題懇談会にも報告し、協議の参考にさせていただきました。

アンケート結果では、統合賛成が約6割、統合反対が約4割でした。

(2) 匝瑳市学校教育問題懇談会意見書（平成21年1月）

匝瑳市教育委員会では平成17年に組織された八日市場市学校教育問題懇談会を継続する形で、匝瑳市学校教育問題懇談会において学校教育関係者・保護者・地域等の代表及び学識経験者の方々に、複式学級が出現する小規模校の児童の教育環境と統合問題を中心に協議を進めていただき、平成21年1月に意見書を提出していただきました。意見書の要旨は以下のとおりです。

- ①児童数の減少が進んだ場合、友人関係が狭くなり、児童同士の多様な価値観の触れ合いの機会に恵まれず、知的刺激や考えの広がり、深まりが少なくなる。また、集団での学習活動にも多くの制約ができてしまう。さらに、複式学級になれば、学習効率は極めて悪くなり、教職員の配置人数も極端に少なくなることから、日常の教育活動や行事の運営等において様々な問題が発生し、教職員の負担も非常に大きくなる。このような状況を避けるために、複式学級が2組以上出現することが予想される学校は、統合が検討されるべきである。
- ②飯高小、匝瑳小については、現在、複式学級が2組存在し、今後の児童数や学級数が現状維持か漸減の状況にあるので、教育委員会は統合について検討し、早期に計画を示すことが望まれる。
- ③学校の統合計画については、保護者や地域住民との意見交換をきめ細かく行い、理解を求めて進めることが望まれる。

- ④統合をする場合、小学校から中学校への人間関係の継続や地域のつながり等を考慮して、中学校区を崩さない条件の中で進めることや、登下校の便宜や安全を図るために、スクールバスを運行するなどの条件の整備に努めることが望まれる。

### (3) 学校統合計画（平成21年3月）

教育委員会では、児童数の推移を基に、匝瑳市学校教育問題懇談会の意見書や飯高・匝瑳各地区の意見交換会でのご意見を参考に、児童のよりよい学習環境づくりを第一に考え、複式学級が複数出現する状況を学校統合の基準とし、平成21年3月に次のとおり学校の統合計画を策定しました。

#### ①学校統合についての基本方針

- ・現在の学区は通学距離、広さ、歴史、地区民の思い等を考慮し、極力変更しないこととし、児童数の大幅な減少や社会の大きな変化等、やむを得ない状況になった場合、他校との統合を検討する。
- ・小学校の統合の基準としては、児童の学習環境等を重視し、複式学級が複数出現することなど、通常の状態から大きく異なる場合とする。
- ・小学校を統合する場合は、中学校での人間関係の継続を考慮する観点から、中学校校区を超えない範囲で統合する。
- ・小学校を統合する場合は、交通手段としてスクールバスを運行し、通学の便と安全を図る。

#### ②実施計画

##### ・飯高小学校について

飯高小学校はさらに児童数が減少し、将来にわたり複数の複式学級が出現することや、学年により児童数が2名あるいは3名と非常に少なく、女子のみの学級も複数あること。さらに平成21年度の新入生がないこと等、少人数化による問題が特に大きいと考えられることから、地区でのアンケート調査で、統合先として最も希望が多かった八日市場小学校と平成22年4月に統合することといたします。

統合後の児童の通学のための交通手段としては、スクールバスを運行することといたします。

##### ・匝瑳小学校について

匝瑳小学校は平成20年度に複式学級が複数出現したものの、平成21年度の複式学級は1学級となり、学級数が増えます。このことから、状況を見ながら対応をしていきます。

具体的には、平成22年5月1日の段階で、その後、複式学級が複数出現する状況である場合、平成23年4月に他校と統合することといたします。

##### ・その他の学校について

現在の段階では、飯高小学校、匝瑳小学校以外に複式学級が複数出現する見通しの学校はありませんが、そのような状況になった場合、地域の方々や匝瑳市学校教育問題懇談会のご意見を参考に、学校の統合問題に対応いたします。

#### (4) 学校統合計画案の進捗状況

##### ①飯高小学校

児童数の減少が特に著しい飯高小学校の統合問題について、教育委員会、保護者、地域住民が協議し、その結果、保護者、地区住民の合意のもとに、平成22年4月に八日市場小学校と統合いたしました。

##### ②匝瑳小学校

平成22年度に複式学級が複数出現した匝瑳小学校は、教育委員会、保護者、地域住民が統合問題について協議した結果、保護者、地区住民の総意は他校との統合を当面見合わせ、統合問題は今後の検討事項としたいということでした。

教育委員会としては、保護者、地区住民のご意見を尊重し、匝瑳小学校を平成23年4月に他校と統合する計画は変更することにいたしました。

#### 6 学校統合計画[第2次]

教育委員会では、学校統合の進捗等状況が変化したことへの対応のため、平成21年3月に作成した「匝瑳市における学校の統合計画」を改正し、次のとおり「匝瑳市における学校の統合計画[第2次]」を策定いたしました。

##### (1) 学校統合についての基本方針

- ①現在の学区は通学距離、広さ、歴史、地区民の思い等を考慮し、極力変更しないこととし、児童数の大幅な減少や社会の大きな変化等、やむを得ない状況になった場合、他校との統合を検討する。
- ②小学校の統合の基準としては、児童の学習環境等を重視し、複式学級が複数出現することなど、通常の場合から大きく異なる場合とする。
- ③小学校を統合する場合は、中学校での人間関係の継続を考慮する観点から、中学校校区を超えない範囲で統合する。
- ④学校の統合は、当該学校の保護者や地区住民のご理解を得ながら進める。
- ⑤小学校を統合する場合は、交通手段としてスクールバスを運行し、通学の便と安全を図る。

##### (2) 実施計画

###### ①匝瑳小学校について

匝瑳小学校は平成22年度に複式学級が複数出現したことから、学校の統合について検討しました。その結果、保護者及び地区住民の総意は、事実上の複式学級が出現したとしても、他校との統合を当面見合わせ、統合問題は今後引き続き検討事項とするということでした。教育委員会としては、このご意見を尊重し、平成23年4月に他校と統合するという当初の案を変更し、今後、保護者、地区住民から学校統合についてのご理解が得られた時点で統合を進めることにいたしました。

###### ②その他の学校について

現在の段階では、匝瑳小学校以外に複式学級が複数出現する見通しの学校はありませんが、そのような状況になった場合、地域の方々や匝瑳市学校教育問題懇談会のご意見を参考に、学校の統合問題に対応いたします。